

令和4年度 第3回西淀川区教育行政連絡会議事要旨

日 時：令和5年2月17日（金）14:00～15:00

場 所：オンライン（Teams）

出席者：（学校） 柏里小学校、野里小学校、姫里小学校、姫島小学校、福小学校、大和田小学校、
川北小学校、佃小学校、香簀小学校、出来島小学校、佃西小学校、御幣島小学校、
淀中学校、佃中学校

各校校長先生

（区役所） 区長 中島、副区長 難波

こども福祉担当課長 横内、保健福祉課担当係長 向井、保健福祉課係員 加藤

○区長より開催の挨拶

○区役所担当より 「西淀川区役所が実施する学校教育関連事業」資料に添って説明。

- ・基礎学力の向上事業（次長枠で実施）

学習意欲の向上や自己肯定感の向上、基礎学力の向上を目指し区内全小中学校で漢字検定・文章検定・英検ジュニア・英検 ESG 等を実施。

今年度についてアンケート実施の結果、去年より多くの子どもが英語の勉強をしてくれた結果が出ている。中学校も目標の級に合格する為に勉強した生徒が 65%に達していて皆様の働きかけのおかげと思っております。

表彰状をお渡しする取り組みも引き続き行いますので、希望される学校がございましたら申請をお願いします。

中学校につきまして、に～よん模試として全中学校2年生を対象に土曜授業を利用し、区 PTA 協議会・好文学園女子高等学校さんのご協力のもと、3/18 に自分の進路に意識する機会を持ってみようという事で実施する予定。

- ・スクールボランティア支援事業（次長枠で実施）

学校への人的支援という事で、スクールボランティア支援事業という学校生活の支援を行うボランティアに対して1日2,700円をお渡しするという支援事業を来年度も継続して行う予定です。

- ・西淀川区民間事業を活用した基礎学力支援事業（次長枠で実施）

来年度より、小学5年・6年にも塾代の助成事業が拡大するのを受け、塾代助成を利用する無料で塾に行くことが出来るという事業をこれまで中学生を対象に行っていましたが、小学校5・6年生にも拡大し実施する。小学生は、校区外に行けないという前提にそってオンラインでも受講いただけるような形で実施する。タブレット・WiFi が無いご家庭に対しては、塾の実施業者方から無料で貸出を行う。

株式会社トライと3年間の協定を締結する予定です。小学校・中学校ともに3月8日にトライからチラシが納品される。

届きましたら、対象の児童生徒への配布をお願いしたい。

- ・こどもサポートネット事業+スクールカウンセラー事業

令和5年度、ヤングケアラー対策として、スクールソーシャルワーカー(SSW)1名・スクールカウンセラー(SC)を1名増員する予定。SSWについては、区役所に配置。SCにつきましては各種調整を経た上で出来島小学校に配置予定。来年度のSSWの拠点校配置につきましては機会を設け各中学校と相談させていただく予定。

- ・たぶんか高校進学セミナー

今年度は夏休みに実施させて頂き、参加者98名27家族が参加された。

○区役所担当より「外国につながる子どもの教育施策」について。資料に添って説明。

- ・JSL・母語支援を淀中学校の「らんまん」の方で行っている。

教育行政連絡会において継続的に数字をお知らせしているが、令和4年度は支援を受けた児童生徒の数が少し減っている。一見流暢に日本語を話している児童生徒についても日本語の学習には支援を要する場合がある。大阪市は手厚い施策を行っています。来年度も積極的に学校の方で利用いただきたい。

- ・令和5年度 of 取組

たぶんか高校進学セミナーを淀中学校と一緒に実施したい。

「にしよど☆グットスタート」

保育所・幼稚園の区役所の職員がまわらせて頂いて、日本語がちょっと難しいご家庭のお子さんについての情報をいただく事ができ進学予定の小学校に情報提供することができた。入学申請書が出ていなかったことで、就学児検診を受ける機会を逃すところであった子どもたちが無事に受ける事ができスムーズに入学につなげる事ができた。来年も同様に支援は続けていき不就学という事態だけは防ぎたい。

○区役所担当より「ブロック化による学校支援事業」

- ・R4年度と同様の予算規模の予定、必要な学校につきましては取り漏れの無いように申請頂きたい。

○区役所担当より「令和4年度の学校協議会(会長会)について 資料に添って説明

- ・子どもに貸与しているタブレットの活用状況について ある学校では、子どもが家で活用している様子が見られない。学級閉鎖等でホームルーム等をタブレットで行うかと思っていたがそのような形で活用されている様子が見られない。別の学校では活用されているという意見もあり、学校毎になぜ違いがでるのかと議論になった。
- ・学校行事について コロナを理由に学校行事にかなり制限がされているが、隣の学校を見ると行っている学校もある、協議会会長も学校長に問い合わせた所、教育委員会からコロナ等で制限を受けているとの説明があった。それが理由なら何処の学校も同じでは無いかという疑問を頂いている。
- ・班登校について コロナを理由としてこれまで班登校を行っていた学校が集団で行動するのは良くないという事で分散登校に切り替わった。コロナが治まれば班登校できるようになるかという意見を頂いた。
- ・行事の来賓について これから卒業式の時期となり教育委員会からの通知で来賓はお断りすることになっていると聞いたが、教育委員会としての方針ならば理解できるが区役所の区長のように業務として関わるのでは無く、地域の方々はそのような場所でないと子ども達に自分たちの顔を認識してもらえないという意見を頂いた。

○意見交換

淀中学校長

個別復習塾、本校の生徒の参加も増えている。小学校 5、6 年に対象を広げるとの事、非常に良い事だと思っている。小学校の時から参加することにより中学校に上がっても引き続き参加する事ができる。塾代利用カードの利用方法を知ってもらうよい機会。事業者の方も来年度も、引き続き同じ業者が行ってくれるという事。毎年見直しを行う事は、良い一面もあるが学習の事柄に限れば 3 年間程度は同じ業者にして頂く方が良い。子ども自身も学習の形態が変わると言う事で戸惑うという事が少ないのでは無いと思う。継続して同じ業者の方に行っていただけるのは素晴らしいと思う。只、あまり永く継続されると何処かで見直しを行う事が必要。

たぶんか高校進学セミナー、第 2 回 盛況のもと終わることが出来た。

市外教主催の多文化進路ガイダンスが行われているが、そこに参加できる生徒は特別枠入試の生徒が対象になる。大阪市全体になると数多くなる為、人数を絞らないと運営自体が難しいと聞いている。西淀川区は外国とつながる生徒が非常に多いのでこの取組を進めていき進学に対する意識などを向上させる事が大事と思う。第 2 回で心配したのは他の区の生徒がたくさん来ていたこと。悪くは無いが、西淀川区の生徒より多くなったというような事にならない様に、進めていって頂きたい。

大和田小学校長

外国につながる子どもの教育施策

「一見日本語を流暢に話している子どもの中でも、日本語の学習に支援を要する場合がある」という事について。

子どもたちと普通に日本語で話をしているが、授業を見に行くと国語や漢字に悩んでいるのが見られる。学習に必要な言語の習得と普通の会話とは違うと改めて感じた。

区役所

小学校 5 年生から J S L、第二言語としての日本語を学ぶ子ども達への教育と言う事で、「らんまん」が各学校に専門の先生を派遣してプログラムを組んでくれる。ただ、各学校から「らんまん」にお願い頂かないと利用出来ない施策になっている。

「らんまん」に 1 本電話いただくと大変丁寧に相談にのってくれる。担任の先生が「あれ」と思われた時に支援級かなあと思われる事も多いかと思うが、もしかしたら日本語での学習に不便があるのかもという事を視野にいれて考えて頂きたい。

福小学校長

当校も、小規模校ではあるが外国人の子どもが多い。スペイン語・タガログ語等の 2 か国語が多く保護者に配布するプリント等もその国の言葉で書かないと難しいという状況である。そのような所も助けて頂きたい。児童も日本語は話しているが文字にすると厳しい。

区役所

そんな時には、是非「らんまん」に相談してみて下さい。

区役所

学校協議会(会長会)について 学校協議会と教育行政連絡会が連携しながら改善していこうと取り組んでいるが、これからコロナについてもいろいろな制限が解除されていくことになる。行事についてもいろいろな学校により事情があり出来たり、出来なかったりしている。いろいろな情報が入った事をプラスに受け止め、学校協議委員会と小学校・中学校と区役所が前向きに、一歩進んだ議論を持つきっかけになったら良い。

淀中学校長

これまで感染者が多い為、全校集会などもしっかり感染防止に取り組んでくださいと言う話を
して、最近になってマスクは必要ないですよと言う話をするのは中々つらい所がある。
マスクについては、外や人と人の間に距離が保ってる場合外しても大丈夫というような
話はしている。中学生、特に女子生徒はなかなか外したくないという場合もある。
マスクが、顔の一部になっており取るのは嫌!というような事もある。式典にしてもマスクを外
していう事になるのですが学校としては積極的にというのは難しいかなあと思う。完全に感染が
無くなった訳では無いのでマスクを外す事に抵抗のある生徒もいる。
マスクをつける子もいれば外す子もいると言う状況をスムーズに作れる様、学校としては今の
時代に沿って徐々に取り組んでいきたい。

川北小学校長

学校行事に関してこれまでの川北小学校の流れを尊重し、淀中ブロックの小中学校の校長先生
と情報交換する中で、他の小中学校とバランスを取りながら制限・緩和を行ってきた。
今年度、本校の行事については8割が実施できた。PTAの役員会や実行委員会でも説明を
させてもらった。来年以降についても、近隣の小中学校と情報交換をしながら子ども達の安全
を第一に考えたい。暑い時期や激しい運動を行う場合はマスクを取りなさいと言いますが、
小さい子どもでも習慣になっていて取り難い子もいる。これから3月以降しっかりと話し
ながらより緩和していきたい。
タブレットの活用状況について、当校はむしろ活用できているとデータが出てきている。
学級閉鎖の時には、1時間目から5時間目の課題を、保護者のメールに送っている。
最後にお子様の体調に考慮してできる範囲で実施してください。という一文を必ずつけて
発信している。学校から課題となると、辛くても必ずやらないと行けないと思う家庭がある。
タブレットを持ち帰っていないので取りに行きたいという方もいらっしゃる。
今後、緩和していくなかで各学校と連携しながら続けていきたい。

区長

学校協議会で、行事についてどうして学校ごとに差があるのかという質問があった。
区役所の行事でも24区あればやり方はかなり様々違っている。
積極的にやっている所、あまり行っていない所。どちらが良いという答えは無いと思う。
色々な意見があり、どちらかの方向でゼロ・百になることはないと思うが、PTA会長や
学校協議会会長には、例え納得されなくても良いので、校長先生の考え方を丁寧に伝えて
頂きたい。